

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0827
施設名	松江おひさま保育園
施設所在地	江戸川区松江1-10-5
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

廃材遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

製作遊びが好きな事。想像力の豊かなクラスである事。から廃材を使用し、自由に製作を行い、作った物で遊んだり、友だちとイメージを共有し、友だちとの関わりや遊びを深めていけるように設定した。

2. 活動スケジュール

毎日の自由遊びの際に手に届く場所に様々な素材の廃材を置いたり、道具を準備し、保育士の見守りの中で工夫し、考え、イメージした物に近付けていく。道具の安全な使い方を知り、素材によっては相性が合わずにくっつかない等がある等知る機会にしていく。出来上がった作品を展示したり、遊びに使い遊びの玩具を作る機会にもしていく。作った物を他クラスの児にも紹介し、遊び方を伝えながら一緒に遊ぶ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

園で出た廃材(段ボールやエアークッション等)家庭で出た廃材(お菓子の箱やラップの芯等)を手の届く場所に置き、道具(はさみやセロハンテープ等)も自由に使えるように設置した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

自由遊びの際に自由に取り出し、自由に遊べるようにしたことで紙1枚でも色々な素材があり、色々な質感があり事を学んでいた。はさみで切り易い枚数であったり、切り易い素材がある事を知り、試行錯誤しながら想像した物に近づけようとしていた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

この素材には、糊はつかないからセロハンテープを使う。ガムテープは、手でちぎれる等子ども同士で教え合う姿が見られた。又、大作を作る際には、場所を譲り合ったり、友だち同士で押さえ合ったり等協力する姿が見られた。イメージの違いからトラブルになる事もあったが、互いに気持ちに折り合いを付けながら互いにイメージを共有して協力する姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

様々素材を用意する事で子どもたちの発想が広がり、日に日に作るものに工夫が見られるようになった。故意に糊ではくっつかない素材やテープで貼れない素材を用意し、子どもたちがどう考えて使用するかを見守った。友だちと一緒に話し合い、苦戦しながらも自分たちのイメージに近づけようとしていた。